

普及活動情勢報告（令和3年5月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

グリーン（青）パパイヤに付加価値を付けよう！

・・・6次産業化支援・・・



4月23日、大月町農村環境改善センターでグリーン（青）パパイヤ生産者4名と、6次産業化セミナー実践コースへの参加について検討しました。

農業改良普及課は、6次産業化セミナーの本年度カリキュラムやこれまでの経過等の情報提供を行い、今後の取り組みについて提案しました。実践コースへの参加に向けて、グリーンパパイヤの加工方法や加工品について生産者同士で意見交換を行い、多数のアイデアを共有しました。

農業改良普及課は、グリーンパパイヤによる所得向上を目指し、加工品開発を支援していきます。

法人化を目指して！

・・・黒尊川営農組合役員会・・・



4月28日、奥屋内集会所で役員4名、関係機関5名が参加して、黒尊川営農組合役員会が開催されました。2月27日に開催した勉強会及び総会では、法人化に取り組むことが決定され、営農組合では役員会を定期的に開催しています。

今回、農業改良普及課は、①設立までのスケジュール、②集落ビジョン案の確認、③集落アンケート案、④法人設立の手続き等について説明を行いました。アンケート内容については、役員から「こうしたほうがいい」といった活発な意見が多く出されました。

次回の役員会では、アンケートの修正案及び定款の検討を行う予定です。

露地ニラにチャレンジ！

・・・（農）四万十利岡FARMのニラ栽培・・・



4月29日、黒潮町の施設ニラほ場で四万十市の（農）四万十利岡FARM組合員4名が、栽培の終わったニラの株を掘り起こし、苗にするための株分けを行いました。

（農）四万十利岡FARMは、経営安定に向けて今年から露地ニラ栽培の試作に取り組んでいます。組合員からは、今後の栽培管理や作業内容についての質問が出され、農業改良普及課は、株分けの方法や苗の仕立て方、定植時の注意点について指導を行いました。

今後も農業改良普及課は、法人の野菜部門の定着に向けた支援を続けていきます。

地域で「農福連携」に取り組もう！

・・・ミョウガの出荷選別見学会・・・



5月13日、宿毛市のミョウガ生産者倉庫で「農福連携」に向けたミョウガの出荷選別見学会を開催し、福祉事業所2カ所の職員4名と農業改良普及課職員4名が参加しました。

ミョウガ生産者に対し、事業所の職員からは、出荷選別作業の方法や、作業時間・量などについての質問が出され、事業所の利用者が作業可能かどうかを検討しました。その結果、1事業所が出荷選別作業について前向きに取り組む方向で、まずは「ミョウガの出荷選別作業体験研修会」を開催し、実際に作業を体験してもらうこととなりました。

今後も農業改良普及課は、福祉事業所とJA及び生産者と連携し、地域全体で「農福連携」の取り組みを支援していきます。